

県内経済の動き

概況

〔2022年5月～2022年7月の動き〕

景気の持ち直しが期待されるも物価上昇や新型コロナの感染拡大が気になり

鉱工業生産指数（5月）は3カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（6月 細島港）は4カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（6月 全店ベース）は9カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（7月）は11カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（6月）は2カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（7月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（6月）は前月比+0.05ポイントの1.45倍で、7月の企業倒産は前月比3件減の0件、負債額は同12億45百万円減の0円となった。

イベント再開により生産や消費の回復が期待されるが、物価上昇や部品の供給不足、新型コロナの爆発的な感染拡大の影響が懸念される。